

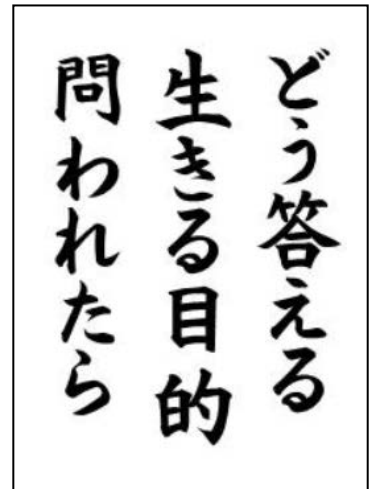
## 「人生の目的」

### 1. 「人生の目的」

右掲は新聞の書籍広告で目についた「人生の目的」という本田健著のタイトルから自分流に川柳に詠んだものです。副題には「自分の探し方、見つけ方」とあるようです。私は満74才で年金を頂いていますが、「百歳現役」を標榜して経営コンサルタントとして現役で働き、小さな会社を経営していますので他の方たちよりも充実している筈ですが、この「人生の目的」という言葉にインパクトを受けたのです。

川柳のように自問すると就職では故福井社長に出会い「コンピュータをやりたい」という願いを叶えて下さり、上司の故十河専務が「コンピュータを担当するなら現場へ行って現実を見る眼を持って」と指示頂いて、自由に営業所や見学などに行っていた事から思い出しました。何せ、上司がいないので自分で「道を切り拓く」という状況で、大変でしたが夢中になって仕事に励み、それなりに達成感を持っていました。その後も仕事面では充実した人生を送ってきたと思っているので「自分探し」という点もありません。

43才の時に諸事象で関連会社へ転職しましたが、水に合わずに今でいうリスクリングで船井総研の客員経営コンサルタント養成学校に自費で通い「船井流」を学び、担当した開発が完了で独立起業（'95年）して、その後、28年も経営できています。お陰様で三男が入社しており、お客様のシステム関連で可愛がって頂いており、2025年に事業承継を目標に頑張ってくれています。マクロに見れば幸せな状況です。さらに、地域貢献では、土日に事務所を開放して老人会の茶話会を開催して喜ばれています。



### 2. 健康生活

しかし、順調な事ばかりでなく、昨年、大動脈の手術を受け人工血管やステントで大動脈乖離のリスクはなくなっていますが、術後の3つの悩み（めまい・便秘・薬疹）と戦っています。まず、退院後に「めまい」に悩まされましたがこれは血圧の変動で起こるようで、酷い時は食後貧血を起こしましたが今はほぼ起こらない状況、起こっても対処法が身についているので解決済みと言えます。次の便秘は、大手術でICUに1週間、その後、一般病棟に1週間で退院したのですが、退院の際に担当医に「私の課題は便秘」と言ったほどに腸内環境が変わりました。最近、自力で排便できるようになったので、残る課題は「薬疹」です。外科の先生は「免疫力」と言って塗り薬を処方してくれましたが、夏風邪を引いた際に内科の先生に変わって「アレルギー」という事で飲み薬を追加して頂き、その後、順調に治まりつつありますが、まだまだ、完治ではありません。

こんな状況ですが、お陰様で午前は11時に終わり、2時から5時過ぎまで仕事をするようにして健康生活のベースを作っています。術後の養生が大切と言われているので、食後には1時間程度の仮眠をとり、テレビを見る際も座椅子を使って楽な姿勢で休養になるように努めています。健康寿命が課題ですが、私は、「運動」x「食事」x「社会」→「健康」と公式化してバランスのとれ、かつ、リズムカルな生活で「健康」を維持しようとしています。幸いにも、自宅と事務所が離れているので、休日でも事務所を書斎替わりにして高齢者の「教育（今日行くところ）・教養（今日の用事）」問題を自動的に回避しています。

健康には「脳」の要素があります。誰でも認知症の可能性がありますが、このように、仕事の合間でも記事を書く事で手先や頭脳を働かせています。それでも、過去の出来事でも名称を度忘れするようになっていきます。幸い、ネット検索などで思い出す事が出来ていますが、記憶力、それも瞬間的な記憶力が課題になっています。以前なら2つの事を同時にしても大丈夫でしたが、最近、別な事でポカッと忘れる事が起きているのが気がかりです。

### 3. 「生き甲斐」

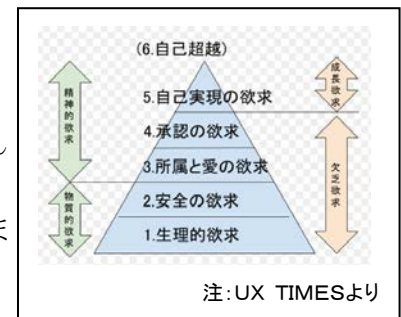
私は、43才で転職して、その就職先でリスクリングで船井流コンサルタントの資格をとり、過去の経験を活かす「道」を切り拓く事ができました。過去の人脈に支えられた面が大きかったので「縁・運・つき」を実感しています。私自身はIBMのコンピュータを担当しましたが、富士通系の方とはFax機やOCR機などの導入で繋がりがあり、46才で独立した時に、「PL法セミナー」の話頂き、若い人と参加者をフォローして頂いた名刺を元に「AMIブレチン」を毎月郵送していた所、第一号のお客様との出会いが出来たと事実があります。

人生は「縁・運・つき」の3拍子と言われますが、購入者という「縁」で交流があり、「PL法セミナー」の参加者をフォローする「運」を頂き、「AMIブレチン」を郵送している中でコンサルティングの依頼が来る「つき」を得たのです。つまり、人との出会い(縁)が重要なのですが、現在、74才なので同世代はいないのがピンチです。従って、自分自身は今さら新しい「縁・運・つき」を望むのではなく、事業を承継してくれる三男の「縁・運・つき」の為に、財務的な面を強化する事が課題に思っています。今のところ、お客様に全力を尽くす事でビジネスの収益を挙げる貢献が来ています。また、その上で、余力を記事を書くなどに充てるようにしています。

そして、何よりも健康で楽しく過ごす事です。朝は近所の喫茶店でモーニング仲間と談笑し、出社して、次女の嫁になってくれた恵美さんと仕事の打合せを兼ねて毎朝スカイプで会話しています。さらに、三男や山口さんと一緒に仕事しており、休憩時には談笑も取り入れています。この談笑が重要だと思っています。「プラスの言霊エネルギー」と言いますが、「談笑」は健康面に良い効果をもたらすと確信しています。また、同じスタンスでお客様とも迷惑をかけない程度に会話をするようにしています。お客様も話す事で新しいヒラメキを得ると喜んでおられるので貢献を少し感じる事が出来ています。このように、存在感を感じると同時に相手の役に立つ事で「遣り甲斐」も同時に感じています。この「遣り甲斐」が充実した人生をもたらしてくれています。

### 4. 「自己超越」

新聞の書籍広告で本田健著「人生の目的」に出会い、その副題「自分の探し方、見つけ方」をヒントに過去を振り返ってみました。右掲はマズローの欲求五段階説に6「自己超越」を加えたものです。「自己超越」は「自我意識が消えて、すべきことに極度に集中しているような心理状態のこと。また、自己にとらわれない行為を志向する「生きる態度」のこと。」と定義されています。私に当てはめると既に年金を頂いているので1と2はクリアしており、3・4・5も経営者や経営コンサルタントとして実現出来ています。残るは6の「自己超越」の域です。つまり、お金などの対価を度外視して「やりたい事」に集中して「成長」を実感する事です。



逆に見ると「自己超越」は「やり残した事」とも言えます。例えば、地域社会での貢献も一つです。前述したように、土日や祭日に事務所を老人会の方々に提供して茶話会を行なっているのも「自己超越」と思っています。この茶話会では一人300円の会費で開催していますが、私が用意した茶菓子を頂きながら談笑の後、トランプを楽しんで頂いて約2時間半を過ごしています。コロナ禍の時に始めたのですが、外出機会が激減した状況なので同じマンション内なので大変喜んで頂いています。今後も健康を維持して茶話会を継続したいと思っています。

最後は「自己超越」と大きなテーマになりましたが、私自身は「運」が良い方で事務所を自宅に近いマンションの一室とした事で「書齋」にもなり、休日に開催する茶話会の会場として提供する事が出来ています。今まで、何かと苦労しましたが、お陰様で「自己超越」の視点で今後を楽しむ事が可能です。これからも健康に気をつけて頑張りたいと思います。

【AMIニュースのバックログは <http://www.web-ami.com/siryo.html> にあります！】